

2009年8月27日

保護者各位

宮城学院中学校高等学校
校長 石井道夫

新型インフルエンザに関する対応について
(報告とお願い)

新涼の候、保護者の皆様にはご清祥のことと存じます。

平素、本校の教育に対しご理解ご協力を賜り有難く感謝申しあげます。

さて、先の授業再開日(21日)には「新型インフルエンザ感染防止について」の文書を配付し、流行が本格化した状況の中で学校内外での感染防止のために家庭のご協力をお願いしてまいりましたが、これまで様々にご協力いただき心より御礼申しあげます。

また、本校でも文化祭を目前にして、一昨日より生徒玄関、教室入口をはじめ、校内各所に「速乾性撻式手指消毒剤」を設置し、これまで以上に校内での感染防止策の強化に努めております。

しかしながら、昨日、生徒1名が新型インフルエンザに感染していることが判明し、早速自宅での療養に入っています。

幸い症状は重くはなく早期の完治が待ち望まれますが、本校では生徒に感染者が確認されたことを重大に受け止めるとともに、出来る限り校内での感染拡大を防ぎたいと考えております。

つきましては、本日現在の本校の様子をお知らせし、ご家庭でも一層の感染防止のためのご協力とお子様方への注意喚起をいただきますよう重ねてお願い申しあげます。(21日付け文書の5項目の注意とお願い、仙台市内の保健福祉センター、保健所の発熱相談センターなどの連絡先をご確認ください。)

なお、本校といたしましては、今後事態の推移を慎重に見守りつつ保健所をはじめ、所轄官庁との連絡を密にしながら必要な措置をとることにしたいと思っておりますので、保護者の皆様には本校からのインフルエンザに関する情報にご注意いただきますようお願い申しあげます。

以上